

木場潟公園 中期経営目標

(実施期間 平成30年度～平成34年度)

平成30年3月 策定

1 施設の設置目的

都市公園は、緑のオープンスペースによる都市の景観や環境の維持・向上を図るとともに、良質な生活基盤として県民の利用に供することにより、まちなかの賑わい創出や健康福祉などに寄与することを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

木場潟公園は、小松市の南方に位置し、自然のままの姿で残された県内唯一の潟である木場潟の優れた自然を保全、利用するために整備された広域公園です。本公園は、水郷風景に調和するように田園的で素朴な公園となっており、木場潟とその周辺の自然との結びつきの中で憩い、やすらぐことが出来るようになっていきます。

北、南、西、中央の各園地には水生植物園やボートなどの水に親しむ施設や多目的グラウンドやパークゴルフ場などの健康スポーツ施設、そのほか休憩所や展望台、ドッグランなどが設けられています。

本公園は、健康運動、休息、自然観察といった、県民の多様なレクリエーション需要に応えることを役割としています。

3 事業内容

(1) 良好な景観や環境の保全・創出

園地や施設の整備と良好な管理により、潟と一体となった白山眺望景観を保全し、緑豊かな快い環境を創出します。

(2) 野外におけるレクリエーション活動の場の提供

安心・安全な公園散策や周遊園路でのウォーキング・ジョギングをはじめ、芝生広場を活用したパークゴルフやグラウンドゴルフ等の健康促進、地域交流活動、メモリアルグラウンドでの少年サッカーなどの野外スポーツ活動の場を提供します。

(3) 自然体験・学習の場の提供

湖面や植栽地を活用した自然観察や野鳥観察及び漁具・農具資料館など自然環境・歴史民俗学習の場を提供します。

(4) 県民参加による交流の場

公園内で開催されるイベントへの参加などを通じた交流の場を提供します。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・木場潟公園では、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成30年度から平成34年度までは、「公益財団法人 木場潟公園協会」を指定管理者として指定しています。
- ・県では、利用状況や利用者からの意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、老朽化した施設の更新・修繕や運営指導等を行うなど、適正な管理・運営に努めています。
- ・県は、指定管理者と調整し、老朽化した施設の更新・修繕などを実施しており、今後とも安全で快適に利用できるよう取り組みます。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・都市公園の管理にあたっては、「安全・清潔で美しい空間づくり」を基本とし、芝生の刈り込み、樹木の剪定、害虫の防除などの維持管理作業を計画的に、かつ状況に応じて実施し、緑地環境の維持向上、来園者に気持ちよく利用していただける環境づくりに努めるとともに、利用者の増大や交流につながるイベントの開催などに努めています。今後も、これまでの実績を活かしつつ、さらに効率的、効果的な手法を研究し、取り組んでいく必要があります。
- ・木場潟公園では、春のさくら祭りに始まり、花菖蒲まつり、木場潟公園まつり、キャンドルナイトウオーキング、レンタサイクル、ドッグラン、ロードレース大会事業など指定管理者による自主事業を行っています。
- ・今後も、本公園の最大の特徴である木場潟の景観・自然環境を保全し、周遊園路や芝生広場、多目的グラウンド、公園センター、多目的展望台等を活かしながら、県民の多様なニーズへの対応やサービスの向上を図っていく必要があります。
- ・広報活動として、ホームページの開設や各種マスメディアを活用した情報発信を行っています。今後とも情報発信の充実に取り組んでいく必要があります。
- ・県民参加型の公園として、より活性化していくためには、地域や関係機関、ボランティア等との連携を促進することが必要であり、それに向けた取り組みを進めていく必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行っています。
- ・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 利用者数を5年間で5%以上増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度95%以上を目指します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (H26～28年平均)	中間目標値 (H32年度)	最終目標値 (H34年度)
①利用者数		708,058人	734,000人	745,000人
②利用者アンケートにおける満足度	利用者サービス	94.7%	95%以上	95%以上
	施設の維持・管理	94.5%	95%以上	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・ さくら祭りや花菖蒲まつり、各種スポーツ大会など幅広い世代が楽しめ、元気になれるようなイベントの開催を行います。
- ・ 老朽化した小型除雪機械を中型に更新し、スムーズな園路・駐車場の除雪を行いウォーキング利用者の要望に応えます。
- ・ 西園地の駐車場除雪を計画区域に入れ、飲食施設の休業期間をなくすようにして利用者の利便を図ります。
- ・ 水鳥や貴重な水生植物を紹介する案内板を設置し、自然と触れ合える機会を創出すると共に自然環境学習に繋がります。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・ ボランティア団体と連携した植物の管理を図ることにより、公園と人とのネットワークを増やすほか経費の削減を図ります。
- ・ イベント時におけるスポンサー企業の導入や参加者からの参加費徴収などにより、経費削減を図ります。
- ・ 芝生の刈くずの堆肥化など、資源のリサイクルや廃棄物の減量化に取り組み、環境に配慮した管理を行います。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用者数

項目	H26	H27	H28
利用者数	650,162人	741,234人	732,778人

(2)利用者アンケート指標(利用者サービス) (施設の維持管理) (単位:%)

項目	H26	H27	H28	H26	H27	H28
良い	60.0	71.9	53.3	32.9	62.9	53.6
概ね良い	35.6	22.2	41.1	59.8	31.7	40.3
計	95.6	94.1	94.4	92.7	94.6	93.9
やや悪い	3.9	3.4	2.7	5.6	3.7	3.9
悪い	0.9	2.5	3.0	1.7	1.7	2.2

(3)使用許可等の状況 (単位:件)

項目	H26	H27	H28
該当なし			
計			

(4)有料施設の利用状況と収入の実績

温水シャワー

H26		H27		H28	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
47件	5千円	75件	8千円	72件	7千円

H23年度まで故障のため利用なし

貸しポート

H26		H27		H28	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
279件	114千円	318件	110千円	259件	132千円

パークゴルフ場

H26		H27		H28	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
一件	一千円	一件	一千円	271件	97千円